

イスラエル国

首相 ベンヤミン・ネタニヤフ 様

駐日特命全権大使 ギラッド・コーヘン 様

2024年2月16日

新日本婦人の会会長 米山淳子

大虐殺を招くガザ南部ラファへの地上侵攻の中止と即時停戦を求めます

イスラエルによるパレスチナ自治区ガザへの軍事攻撃開始から4カ月、ガザ市民の死者は2万8000人を超え、人道の危機と言われる状況が続く中、ネタニヤフ首相は「最終的な勝利に向けて軍事行動を継続する」と宣言し、ガザ南部ラファへの侵攻を強行する構えです。100万を超える人々が避難するラファに大規模攻撃をおこなえば、逃げ場のない住民の大量殺りくになることは火を見るより明らかです。ラファへの地上侵攻に断固反対するとともに、ガザへの軍事攻撃中止と即時停戦を求めます。

ネタニヤフ首相は、ガザの市民に南部への避難を指示しながら空爆をおこない、病院や学校をはじめ、貯水池や給水タンクなどライフライン、裁判所や公文書館まで破壊しています。人道支援の拠点である国連施設の破壊も許されません。今年1月にも二国家共存をあらためて否定し攻撃を続けるイスラエルの行為はもはや、自衛権の行使で正当化できず、国連憲章、国際人道法、ジェノサイド条約違反です。

イスラエルは、各国で高まり続ける「即時停戦を」の声に応え、人道的停戦を求めた国連決議、ガザでのジェノサイド防止を命じた国際司法裁判所の決定に従い、軍事行動をやめるべきです。問題の根源には、イスラエルが長年ガザを占領、封鎖し軍事攻撃を続け、人々の自由と人権を奪ってきたという事実があります。占領と封鎖を解除し、パレスチナの人々の平和に生きる権利を保障するよう、つよく求めます。